

令和 3年度予算見積調書

課室名：政策調査課

担当名：広報担当

内線：6257

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B1	県議会情報提供事業			一般会計	議会費	議会費	事務局費	議会広報費		
事業期間	昭和54年度～	根拠法令	なし					宣言項目	SDGsゴール	16
					分野施策				SDGsターゲット	16-6
1 事業概要 県民が県議会への関心を持ち、議会活動への理解が深まるよう、各種広報媒体を積極的かつ効果的に活用し、各定例会での審査内容等を広く周知する。 (1) 視力障害者向け広報 2,017千円 (2) 印刷物による広報 79,272千円 (3) テレビ、インターネットによる広報 127,082千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 視力障害者向け広報 広報紙「埼玉県議会だより」点字版380部、デジ版120枚 2,017千円 イ 印刷物による広報 広報紙「埼玉県議会だより」年4回発行、新聞広報年4回 79,272千円 ウ テレビ、インターネットによる広報 テレビ番組制作(新春番組含む)年15回・放送年15回 127,082千円 各定例会(本会議、予算特別委員会)の生・録画放送 ホームページ及びメルマガによる情報発信 随時 (2) 事業計画 議会機能を強化していくためには、政策立案機能の充実はもとより、県民と県議会の関係強化が欠かせない。このため、次の事業を実施する。 ア 効果的な広報媒体により、広く県民に議会活動を公正かつ迅速に広報する。 イ 県民参加の事業により、県民の地域課題に対する問題意識、参加意識等を喚起する。 (3) 事業効果 各種広報媒体を活用することにより、次の効果を生み出す。 ホームページ総アクセス件数 平成29年度 961,110件、平成30年度 1,098,875件、令和元年度 1,394,189件 本会議傍聴者数 平成29年度 2,992人、平成30年度 3,206人、令和元年度 2,594人 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 県民参加型広報(広報紙「埼玉県議会だより」の題字、学生の傍聴インタビュー記事、フォトコンテストの実施及び入賞作品の広報活用など)						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) 4 議会費 議会、議会事務局の運営										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×5.0人=47,500千円										
				財 源 内 訳				一般財源	前年との対比	
予算額										
決定額	208,371								208,371	△2,231
前年額	210,602								210,602	